

◆移行措置・中学校理科 <第1学年> = 最終確定版

←文科省告示（平成20年6月13日）に基づいて文理編集部が整理・作成。

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(1) 身近な物理現象</p> <p>ア 光と音</p> <p>(ア) 光の反射・屈折</p> <p>(イ) 凸レンズの働き</p> <p>(ウ) 音の性質</p> <p>イ 力と圧力</p> <p>(ア) 力の働きと力のつり合い [→後半は第3学年の(5)ア(ア)に移行]</p> <p>(イ) 圧力 【内取3(2)オ 水圧は扱わない】</p> <p>(2) 身の回りの物質</p> <p>ア 物質のすがた</p> <p>(ア) 物質のすがた 【内取3(3)アのうち「密度」に関する部分】</p> <p>(イ) 状態変化と体積変化</p> <p>(ウ) 気体の発生と性質</p> <p>イ 水溶液</p> <p>(ア) 水溶液</p> <p>(イ) 酸・アルカリ・中和 [→H23年度移行措置の第3学年で指導]</p> <p><b>第2分野*****</b></p> <p>(1) 植物の生活と種類</p> <p>ア 生物の観察</p> <p>イ 植物の体のつくりと働き</p> <p>(ア) 花のつくりと働き</p> <p>(イ) 葉・茎・根のつくりと働き</p> <p>ウ 植物の仲間</p> <p>(ア) 種子植物の仲間</p> <p>(2) 大地の変化</p>	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(1) 身近な物理現象</p> <p>ア 光と音</p> <p>(ア) 光の反射・屈折</p> <p>(イ) 凸レンズの働き</p> <p>(ウ) 音の性質</p> <p>イ 力と圧力</p> <p>(ア) 力の働き 【内取3(2)エ カとばねの伸び、重さと質量の違い】</p> <p>(イ) 圧力 (水圧を含む) 【内取3(2)オ 水圧、浮力】</p> <p>(2) 身の回りの物質</p> <p>ア 物質のすがた</p> <p>(ア) 物質のすがた 【内取3(3)アのうち「代表的なプラスチックの性質」】</p> <p>ウ 状態変化</p> <p>(ア) 状態変化と熱 【内取3(3)オ 粒子のモデル、粒子の運動】</p> <p>(イ) 物質の融点と沸点</p> <p>ア(イ) 気体の発生と性質</p> <p>イ 水溶液</p> <p>(ア) 物質の溶解</p> <p>(イ) 溶解度と再結晶 【内取3(3)ウ 粒子のモデル、質量パーセント濃度】</p> <p><b>第2分野*****</b></p> <p>(1) 植物の生活と種類</p> <p>ア 生物の観察</p> <p>イ 植物の体のつくりと働き</p> <p>(ア) 花のつくりと働き</p> <p>(イ) 葉・茎・根のつくりと働き</p> <p>ウ 植物の仲間</p> <p>(ア) 種子植物の仲間</p> <p>(イ) 種子をつくらない植物の仲間 【内取3(2)エ シダ植物やコケ植物が胞子をつくること】</p> <p>(2) 大地の成り立ちと変化</p>	<p>21年度と同じ</p>	<p>21年度と同じ</p>	<p>21年度と同じ</p>	<p>21年度と同じ</p>

<p>ア 地層と過去の様子</p> <p>イ 火山と地震  (ア) 火山活動と火成岩  【内取3(3)イ 火山岩・深成岩は各1種類】</p> <p>(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き</p>	<p>イ 地層の重なりと過去の様子  【内取3(3)ウのうち「断層、褶曲】</p> <p>ア 火山と地震  (ア) 火山活動と火成岩  【内取3(3)アのうち「火山岩及び深成岩は代表的な岩石を扱う】</p> <p>(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き</p>				
---	--	--	--	--	--

中学校理科・第1学年

平成20年6月 文理・編集部

付記： 中学校理科・第1学年の移行措置は、平成21年度・22年度・23年度とも同じ。

◆移行措置・中学校理科 <第2学年> = 最終確定版

←文科省告示（平成20年6月13日）に基づいて文理編集部が整理・作成。

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
21年度は移行措置なし	21年度は移行措置なし	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(3) 電流とその利用</p> <p>ア 電流</p> <p>(ア) 静電気と電流</p> <p>(イ) 回路と電流・電圧</p> <p>(ウ) 電流・電圧と抵抗</p> <p>イ 電流の利用</p> <p>(ア) 電流と磁界</p> <p>(イ) 磁界中の電流が受ける力</p> <p>(ウ) 電気と光・熱</p> <p>【内取3(4)オ 電力量の概念は扱わない。定量的な扱いはしない。】</p> <p>(4) 化学変化と原子・分子</p> <p>ア 物質の成り立ち</p> <p>(ア) 物質の分解</p> <p>(イ) 原子・分子</p> <p>イ 化学変化と物質の質量</p> <p>(ア) 化合と化学反応式</p> <p>(イ) 化学変化と物質の質量</p> <p><b>第2分野*****</b></p> <p>(3) 動物の生活と種類</p> <p>ア 動物の体のつくりと働き</p> <p>(ア) 動物の体とつくりの働きの観察</p> <p>(イ) 刺激と反応</p> <p>(ウ) 生命を維持する働き</p> <p>イ 動物の仲間</p> <p>(ア) 動物の仲間</p>	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(3) 電流とその利用</p> <p>ア 電流</p> <p>(エ) 静電気と電流</p> <p>【内取3(4)エ 電流が電子の流れであること】</p> <p>(ア) 回路と電流・電圧</p> <p>(イ) 電流・電圧と抵抗</p> <p>(ウ) 電気とそのエネルギー</p> <p>【内取3(4)ウ 電力量、熱量】</p> <p>イ 電流と磁界</p> <p>(ア) 電流がつくる磁界</p> <p>(イ) 磁界中の電流が受ける力</p> <p>(ウ) 電磁誘導と発電</p> <p>(このうち「直流と交流の違い」)</p> <p>(4) 化学変化と原子・分子</p> <p>ア 物質の成り立ち</p> <p>(ア) 物質の分解</p> <p>(イ) 原子・分子</p> <p>イ 化学変化</p> <p>(ア) 化合</p> <p>(イ) 酸化と還元</p> <p>[→現行第3学年から移行]</p> <p>【内取3(5)簡単なものを扱う】</p> <p>(ウ) 化学変化と熱</p> <p>[→現行第3学年から移行]</p> <p>ウ 化学変化と物質の質量</p> <p>(ア) 化学変化と質量の保存</p> <p>(イ) 質量変化の規則性</p> <p><b>第2分野*****</b></p> <p>(3) 動物の生活と生物の変遷</p> <p>ア 生物と細胞</p> <p>イ 動物の体のつくりと働き</p> <p>(イ) 刺激と反応</p> <p>(ア) 生命を維持する働き</p> <p>ウ 動物の仲間</p> <p>(ア) 脊椎動物の仲間</p> <p>【内取3(4)ウ 脊椎動物の体の表面の違い等】</p> <p>(イ) 無脊椎動物の仲間</p>	22年度と同じ	22年度と同じ

		(4) 天気とそその変化 ア 気象観測 イ 天気の変化 (ア) 霧や雲の発生 (イ) 前線の通過と天気の変化	【内取3(4)エ 節足動物や軟体動物の観察と脊椎動物との比較】 エ 生物の変遷と進化 【内取3(4)オ 進化の証拠や具体例、生息環境での生活に都合のよい特徴】 (4) 気象とそその変化 ア 気象観測 イ 天気の変化 (ア) 霧や雲の発生 【内取3(5)アのうち「水の循環」】 (イ) 前線の通過と天気の変化 ウ 日本の気象 (ア) 日本の天気の特徴 (イ) 大気の動きと海洋の影響 【内取3(5)ウ 大気の動き、地球の大きさや大気の厚さ】		
--	--	--	---	--	--

中学校理科・第2学年

平成20年6月 文理・編集部

付記： 中学校理科・第2学年の移行措置は平成21年度には行わない。22年度の移行措置と23年度の移行措置は同じ

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(5) 運動の規則性 ア 運動の規則性</p> <p>(7) 運動の速さと向き (イ) 力と運動</p> <p>(ウ) エネルギーの変換と保存</p> <p>(6) 物質と化学反応の利用 ア 物質と化学反応の利用 (7) 酸化と還元</p> <p>(イ) 化学変化とエネルギー 【内取3(7)イのうち「イオンは扱わない】】</p> <p>(7) 科学技術と人間</p> <p>ア エネルギー資源 (7) エネルギー資源</p> <p>イ 科学技術と人間（第2）分野との選択)</p>	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(5) 運動とエネルギー ア 運動の規則性 (7) 力のつり合い</p> <p>(イ) 運動の速さと向き (ウ) 力と運動</p> <p><b>イ 力学的エネルギー</b> <b>(7) 仕事とエネルギー</b> <b>【内取3(6)ウ 仕事の原理】</b> (イ) 力学的エネルギーの保存</p> <p>(6) 化学変化とイオン</p> <p><b>ア 水溶液とイオン</b> <b>(7) 水溶液の電気伝導性</b> <b>(イ) 原子の成り立ちとイオン</b> <b>【内取3(7)ア 電子と原子核、陽子、中性子、イオン式】</b> (ウ) 化学変化と電池 <b>【内取3(7)イのうち「電極で起こる反応を中心に扱う】】</b></p> <p>イ 酸・アルカリとイオン (7) 酸・アルカリ (イ) 中和と塩</p> <p>(7) 科学技術と人間 ア エネルギー (7) 様々なエネルギーとその変換</p> <p>(イ) エネルギー資源</p> <p>イ 科学技術の発展 ウ 自然環境の保全と科学技術の利用</p>	<p><b>21年度と同じ</b></p>	<p><b>21年度と同じ</b></p>	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(5) 運動の規則性 ア 運動の規則性</p> <p>(7) 運動の速さと向き (イ) 力と運動</p> <p><b>(ウ) エネルギーの変換と保存</b> [→新課程では(5)イと(7)ア(7)に分割]</p> <p>(6) 物質と化学反応の利用 <b>ア 物質と化学反応の利用</b> <b>(7) 酸化と還元</b> [→H22年度移行措置の第2学年で指導済]</p> <p><b>(イ) 化学変化とエネルギー</b> <b>【内取3(7)イのうち「イオンを扱わない】】</b> [→H22年度移行措置の第2学年で指導済]</p> <p>(7) 科学技術と人間</p> <p>ア エネルギー資源 (7) エネルギー資源</p> <p><b>イ 科学技術と人間（第2分野との選択）</b></p>	<p><b>第1分野*****</b></p> <p>(5) 運動とエネルギー ア 運動の規則性 <b>(7) 力のつり合い</b> [→現行第1学年から一部移行]</p> <p>(イ) 運動の速さと向き (ウ) 力と運動</p> <p><b>イ 力学的エネルギー</b> <b>(7) 仕事とエネルギー</b> <b>【内取3(6)ウ 仕事の原理】</b> <b>(イ) 力学的エネルギーの保存</b> <b>【内取3(6)エ 摩擦】</b></p> <p>(6) 化学変化とイオン</p> <p><b>ア 水溶液とイオン</b> <b>(7) 水溶液の電気伝導性</b> <b>(イ) 原子の成り立ちとイオン</b> <b>【内取3(7)ア 電子と原子核、陽子、中性子、イオン式】</b> <b>(ウ) 化学変化と電池</b> <b>【内取3(7)イ 電極で起こる反応を中心に扱う、日常生活等で利用される代表的な電池】】</b></p> <p><b>イ 酸・アルカリとイオン</b> <b>(7) 酸・アルカリ</b> <b>(イ) 中和と塩</b> <b>【内取3(7)ウ pH】</b> <b>【内取3(7)エ 水に溶ける塩・溶けない塩】</b></p> <p>(7) 科学技術と人間 ア エネルギー <b>(7) 様々なエネルギーとその変換</b> <b>【内取3(8)ア 熱の伝わり方、エネルギー総量保存及び変換効率】】</b> (イ) エネルギー資源 <b>【内取3(8)イ 放射線の性質と利用】</b></p> <p><b>イ 科学技術の発展</b> <b>ウ 自然環境の保全と科学技術の利用</b></p>

<p><b>第2分野*****</b>  (5) 生物の細胞と生殖  ア 生物と細胞  (ア) 植物と動物の細胞の特徴</p> <p>(イ) 細胞分裂と生物の成長  イ 生物の殖え方  (イ) 生物の殖え方</p> <p>(6) 地球と宇宙  ア 天体の動きと地球の自転・公転  (ア) 日周運動と自転  (イ) 年周運動と公転  イ 太陽系と惑星  (イ) 太陽系と惑星、恒星</p> <p>(7) 自然と人間  ア 自然と環境  (ア) 自然界のつり合い  (イ) 自然環境の調査と環境保全  イ 自然と人間(第1分野との選択)</p>	<p><b>第2分野*****</b>  (5) 生命の連続性  ア 生物の成長と殖え方</p> <p>(ア) 細胞分裂と生物の成長</p> <p>(イ) 生物の殖え方  <b>イ 遺伝の規則性と遺伝子</b>  <b>【内取3(6)ウ 分離の法則、遺伝子の変化による形質の変化、遺伝子の本体はDNAであること】</b></p> <p>(6) 地球と宇宙  ア 天体の動きと地球の自転・公転  (ア) 日周運動と自転  (イ) 年周運動と公転  イ 太陽系と恒星  (ア) 太陽の様子  (イ) 惑星と恒星  <b>(イ) 月の運動と見え方</b>  <b>【内取3(7)ウ 日食や月食】</b></p> <p>(7) 自然と人間  ア 生物と環境  (ア) 自然界のつり合い  (イ) 自然環境の調査と環境保全  イ 自然の恵みと災害  ウ 自然環境の保全と科学技術の利用</p>			<p><b>第2分野*****</b>  (5) 生物の細胞と生殖  ア 生物と細胞  <b>(ア) 植物と動物の細胞の特徴</b>  [→H22年度移行措置の第2学年で指導済]  (イ) 細胞分裂と生物の成長  イ 生物の殖え方  (イ) 生物の殖え方</p> <p>(6) 地球と宇宙  ア 天体の動きと地球の自転・公転  (ア) 日周運動と自転  (イ) 年周運動と公転  イ 太陽系と惑星  (イ) 太陽系と惑星、恒星</p> <p>(7) 自然と人間  ア 自然と環境  (ア) 自然界のつり合い  (イ) 自然環境の調査と環境保全  イ 自然と人間(第1分野との選択)</p>	<p><b>【内取3(8)ウ 第2分野と総合的に扱う】</b></p> <p><b>第2分野*****</b>  (5) 生命の連続性  ア 生物の成長と殖え方</p> <p>(ア) 細胞分裂と生物の成長</p> <p>(イ) 生物の殖え方  <b>イ 遺伝の規則性と遺伝子</b>  <b>【内取3(6)ウ 分離の法則、遺伝子の変化による形質の変化、遺伝子の本体はDNAであること】</b></p> <p>(6) 地球と宇宙  ア 天体の動きと地球の自転・公転  (ア) 日周運動と自転  (イ) 年周運動と公転  イ 太陽系と恒星  (ア) 太陽の様子  (イ) 惑星と恒星  <b>(イ) 月の運動と見え方</b>  <b>【内取3(7)ウ 日食や月食】</b></p> <p>(7) 自然と人間  ア 生物と環境  (ア) 自然界のつり合い  (イ) 自然環境の調査と環境保全  イ 自然の恵みと災害  <b>ウ 自然環境の保全と科学技術の利用</b>  <b>【内取3(8)エ 1分野と総合的に扱う】</b></p>
--	---	--	--	--	---

中学校理科・第3学年

平成20年6月 文理・編集部

付記： 中学校理科・第3学年の移行措置は、平成21年度と22年度が同じ。23年度は追加項目が増える。